

RIO CAN
REAL VISION, SOLID GROUND

RioCan Real Estate Investment 社、 HPE Synergy の導入により ラックスペースとコストの削減を実現

企業の進化に貢献した
コンポーザブルインフラストラクチャ

業種
金融サービス

目的
品質を維持しつつ、営業利益率の
向上と、データセンターの設置面
積を削減

アプローチ
将来のプラットフォームの拡張を
可能にする高い柔軟性を備えた
ソリューションとして、HPE
Synergy コンポーザブルインフラ
ストラクチャを実装

- IT での成果
- ホストサーバー数を 14 台から
8 台に削減
 - ハードウェアのコストを 3 年間で
18 万ドル節減
 - データセンターでフルラックをな
くし、さらに設置面積を減らすこ
とにより、コロケーションコストを
3 年間で 12 万ドル節減

- ビジネスでの成果
- 意思決定に求められる複雑な
ビジネス分析能力を向上
 - ビジネスクリティカルな職務に
集中できるよう、IT チームの作業
量を軽減
 - ディスクメモリと CPU の総容量を
30% 増やし、総設置面積の 20%
を未使用面積として確保（成長軌
道に乗る企業では非常に重要）。



RioCan Real Estate Investment 社は、カナダでの不動産の取り扱い面積の拡大を目指す一方で、データセンターにおけるテクノロジーシステムの設置面積の削減も望んでいます。同社は、テクノロジーシステムのリース更新時に HPE に注目し、HPE Synergy コンポーザブルインフラストラクチャを実装して、3年間で30万ドルを節減しました。

RioCan Real Estate Investment (RioCan) 社は企業進化の真ただ中にあります。カナダで最大規模の、最も信頼できる不動産投資信託である同社は、過去 25 年間にわたって、同国で最も認知度が高い小売業者、スーパー、映画館、レストラン、銀行、ジムなどの物件をリース、建設、開発、提携、および改修してきました。6,200 のテナント、859 万平方フィートの開発中の地所、および 4510 万平方フィートのリース可能総面積を擁する同社は、現在は住宅物件に重点的に取り組んでいます。公園の開発や、住宅 / 商業 / オフィス用途を組み合わせた市街地の多目的物件の開発など、コミュニティの構築への取り組みは、同社の企業理念の転換を意味しており、IT に対しても新たな捉え方をしています。

「当社はハードウェアを統合しようとしており、同時に運用コストと資本コストの削減も目指していましたが、3年間で30万ドル削減できただけでなく、高いパフォーマンス、可用性、信頼性、整合性、そしてシンプルな管理も実現できました。HPE Synergy がベストです。」

– RioCan 社、Technical Services and Engineering 担当、アシスタント バイスプレジデント、Nadeem Hussain 氏

HPE のソリューションによって、RioCan 社のダウンタイムは最小化し、情報セキュリティが強化され、コスト削減が可能になりました。



低コストで高品質

RioCan 社の経営陣は、最新の情勢を把握して、最も革新的で効率的なテクノロジーを常に適切に機能させるためには、3年単位のハードウェアのリースが有利だと考えています。以前のテクノロジーリフレッシュで IBM PureFlex ソリューションから置き換えられていた HPE CS700x システムの更新時期が来た際に、HPE は、ダウンタイムと情報セキュリティに関して低リスクであり、短時間で導入できて、単一窓口でのサポートが提供されるソリューションを提案しました。これを使用すれば、同社はコストを削減しつつ、営業利益率を維持、向上することもできます。つまり HPE は、品質に妥協せずに資本支出を低減するソリューションを提示したのです。

RioCan 社 の Nadeem Hussain 氏 (Technical Services and Engineering 担当、アシスタント バイスプレジデント) は次のように語ります。「当社の事業に対する観点が変化している中、テクノロジーに求められるニーズも変化しています。ビジネスオペレーションの稼働時間と可用性は、当社にとって非常に重要ですが、ROI を向上させ、さらにビジネス分析の処理能力も高める必要があります。HPE は当社のニーズを分析し、当社の RFP に基づいて、コンポーザブルインフラストラクチャ アーキテクチャーのアプローチを提示してくれました。」

強力なソフトウェア デファインド ソリューションを使用した HPE コンポーザブルインフラストラクチャでは、物理コンピュータ、ストレージ、およびネットワークデバイスがリソースやサービスのプールとして扱われます。これらのサービスは、アプリケーションやワークロードの最適なパフォーマンスに求められる要件を満たして上でプロビジョニングされ、別のワークロードでそのサー

ビスが必要になったときに再度割り当てられます。このような俊敏性を備えることで、企業では完全にプログラム可能な方法で IT リソースを最適化できるようになります。

HPE Synergy ソリューション

コロケーション データセンターでラックスペースを削減するという RioCan 社の目標を理解した上で、HPE は単一フレームにシステム統合できる **HPE Synergy コンポーザブルインフラストラクチャ** を推奨しました。これにより、ラックスペースが削減されるだけでなく、電力使用量もコストも大幅に低減されました。

HPE チームは、HPE Synergy 12000 フレームと 8 基の HPE Synergy 480 Gen9 コンピューティングモジュールに加えて、ストレージ用の HPE 3PAR StoreServ 8200 と、3年間の 24 時間 365 日のプロアクティブケア サポート付きの **HPE Pointnext サービス** も提案しました。このソリューション全体は、ハイブリッド IT 管理をシンプルにするために **HPE OneView** でまとめられました。このソリューションでは、クラウド中心型ソリューションを活用しながらデータ中心型アプリケーションを柔軟に運用でき、将来プラットフォームを拡張する余地も残されています。

HPE Synergy に搭載されるインテル® Xeon® プロセッサも含め多くの理由から、提案されたソリューションに魅力を感じた Hussain 氏は「当社は HPE とインテル® の間のパートナーシップが気に入りました。卓越したイノベーションとなると、最善の組み合わせのハードウェアを提供できる、HPE とインテルによる共同の取り組みが競争上優位に立っていました」と語ります。



RioCan 社のチームは、コンポーザブルインフラストラクチャによって提供される柔軟性にも良い印象を持ち、迅速な導入によって組織全体で効率が向上することを高く評価しました。

ハリケーンによる妨害

Hussain 氏とそのチームにとっては、実装のタイミングが最も重要でした。同社の営業年度末は 12 月 31 日であり、すべてのアクティビティを 12 月 10 日までに凍結する必要があるため、11 月中旬までにデリバリが行われないと、実装と移行が翌年 2 月まで行われなくなることになります。

HPE チームにとって、そのタイムラインは現実的かつ実行可能なものでしたが、そこに米国南部にハリケーン「ハービー」が襲来しました。そこで、移行期限に間に合わせなければならないというクライアントのプレッシャーを知る HPE チームは、そのオーダー経路をチェコ共和国にある流通センターに変更し、オンタリオ州マーカムにある RioCan 社のコロケーション データセンターに急送しました。

Hussain 氏は次のように語ります。「HPE Pointnext によって、確実に事前統合されたソリューションがデータセンターに到着した時には、ヨーロッパの流通センターですでにラック取り付け、スタッキング、およびケーブル接続が済んでいる状態でした。その後、HPE チームに 5 日間現場で、当社のエンジニアによる設置と構成のプロセスを支援してもらいました。」

トレーニングの転機

移行は 4 週間以内にすべて完了したので、RioCan 社の期限に間に合い、同社の社内ユーザーが中断やダウンタイムを被ることもありませんでした。「当社は賃借料を月単位で処理し、ベンダーにも月単位で支

払っているため、当社のユーザーに対する機能停止状態を確実に無くすことを望んでいました」と Hussain 氏は説明します。

同氏は、ハードウェアが届く前に彼のチームが受けたトレーニングが役立ったと考えています。「当社チームがサンドボックス環境を利用できるという、HPE での 2 日間のセッションを手配しました。チームはそのセッションに参加して、当社のハードウェアが届く前に、疑問点をすべて質問し、テクノロジーシステムを実際に操作し、マシンを作成し、ハードウェアをさまざまな場所に移動しました。当社のハードウェアが届いて HPE の実装チームが現場に来たときには、私のチームが主導して、それを見守ってくれるよう依頼しました。そうすることで、チームは安全な環境でこのテクノロジーを何から何まで把握する自信を持つことができました。そのことは私たちにとって大きなプラスになりました。」

HPE Synergy による大幅なコスト節減

RioCan 社が利用しているコロケーション データセンターはトロントからそれほど離れていない場所にあるため、ラックスペースを削減することはコスト節減を意味します。HPE Synergy で単一フレームにシステム統合できることにより、必要なラックサーバーが 2 台のフルラックから 1 台に削減され、そこで浮いた資金を別の業務に再配分できました。

「当社の以前のシステムでは 14 台の物理ホストサーバーを稼働していましたが、現在は 8 台ですべてが稼働しているため、1 台のラック全体を取り除きました。コスト削減は当社にとって重要です。設置面積を減らすことで 1 年間に 4 万ドル削減しているので、3 年間のリースではコロケーションコストが 12 万ドル削減されます。これは大きな削減です。」(Hussain 氏)



「HPE Synergy なら、ニーズに応じたスケーリングが可能です。事業の成長に合わせてハードウェアを追加できる一方、スケールダウンが必要な場合には、HPE にはそれに対処するプロセスもあります。」

– RioCan 社、Technical Services and Engineering 担当、アシスタント バイスプレジデント、Nadeem Hussain 氏

お客様のソリューション概要

ソリューション

HPE Synergy コンポーザブル
インフラストラクチャ

ハードウェア

- HPE Synergy 12000 フレーム
- HPE Synergy 480 Gen9
コンピューモジュール
- HPE 3PAR StoreServ 8200

ソフトウェア

- HPE プロアクティブケア
- HPE ファクトリーエクスペス
サービス
- HPE 導入サービス
- HPE テクニカルトレーニング

詳細情報

hpe.com/composable

hpe.com/synergy

メールニュース配信登録

このソリューションでは、物理的なスペースの削減だけでなく、総設置面積の 20% を将来の拡張用に空けたうえで、ディスクメモリと CPU の総容量が 30% 増加しています。

「HPE Synergy フレーム内で処理能力を増やしたい場合は、2 基のコンピューティングモジュールを追加できることになっています。そのため、当社での現在のニーズに合わせた上で、必要であれば容量を増やすことができます」と Hussain 氏は説明します。

RioCan 社は、パフォーマンスと柔軟性を向上させながら、リース費用で年間 6 万ドルのコスト節減を見込んでいます。同社は 3 年間で 18 万ドル節減できるため、このソリューションによる総コスト節減は 30 万ドルになります。

Hussain 氏は次のように語ります。「当社はハードウェアを統合しようとしており、同時に運用コストと資本コストの削減も目指していましたが、3 年間で 30 万ドル削減できただけでなく、パフォーマンス、高可用性、信頼性、一貫性、そして管理の簡素化も手に入れることができました。HPE Synergy がベストです。」

RioCan 社では、**HPE Synergy** によるタスクの処理速度の向上に伴い効率も向上し、時間節約とビジネス成長につながっている Hussain 氏は語ります。国をまたがる大規模な複数のプロジェクトに参与している企業では、意思決定の際にはスピードと俊敏性が非常に重要です。

「当社にとって、iOS のパフォーマンスと処理性能を向上させることは重要であり、HPE Synergy によってそれを実現できました。1 時間かかっていたジョブを 15 分以内で実行できるようになり、56 ミリ秒かかっていたジョブが 0.04 ミリ秒に短縮されました。これは驚異的であり、まさに当社が求めていたパフォーマンスの改善です。」

HPE プロアクティブ ケアによる安心感

HPE Pointnext による HPE プロアクティブケアをソリューションに付加することで、Hussain 氏とそのチームに有形無形のメリットがもたらされました。この IT 運用サービスを利用することにより、社内チームは時間を節約でき、ハードウェアのメンテナンスではなくビジネスに有益な業務に集中できると、Hussain 氏は説明します。

「HPE プロアクティブケアは私たちに安心感を与えてくれます。ディスク機能の異常、またディスクにおける障害発生をハードウェアレベルで予測でき、不具合が起こる前にハードウェアを発送するようにチームにアラートが通知されます。HPE からリースした以前のハードウェアではダウンタイムは発生しなかったため、今回のシステムでも発生しないと考えています。」

© Copyright 2018 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに限り、それに対する保証は当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Intel、インテル、インテル Xeon、および Intel ロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。その他すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a00058189JPN、2018年10月